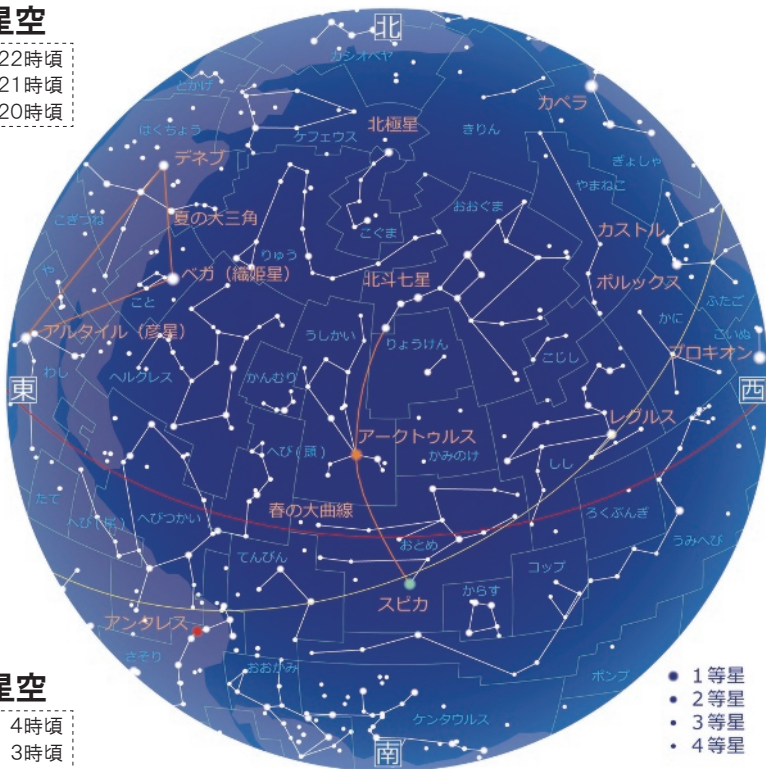


星空ガイド 5月16日～6月15日

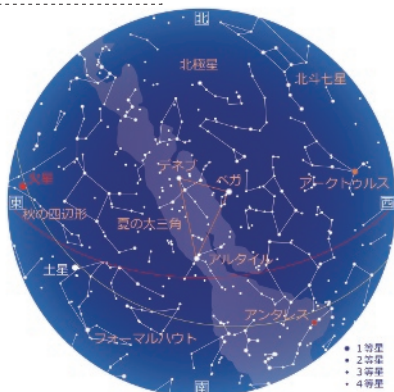
よいの星空

5月16日22時頃
6月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

5月16日 4時頃
6月1日 3時頃
15日 2時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

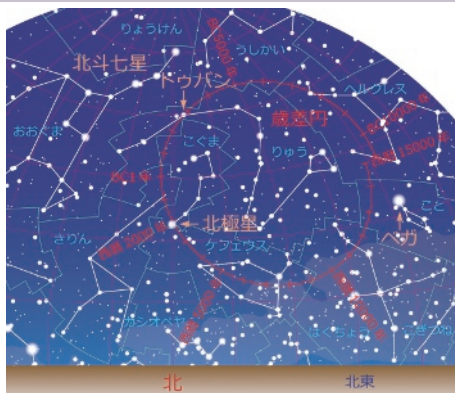
【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
5	16	木	4:54	18:55	12:08	1:10	8.0
	21	火	4:51	18:59	16:51	3:09	13.0
	26	日	4:48	19:02	22:02	6:27	18.0
6	1	土	4:46	19:06	1:12	13:17	24.0
	6	木	4:45	19:09	3:59	19:09	29.0
	11	火	4:44	19:11	8:55	23:10	4.6
	15	土	4:44	19:13	12:46	0:24	8.6

※惑星は2024年6月1日の位置です。

干支の星座

今年は辰年ですが、今年の干支の星座とも言えるりゅう座が、北の空高くに見えています。おおぐま座とこぐま座の間に位置し、ちょうどこぐまを取り囲むように星が並んでいます。東側に見える四角形の星の並びが竜の頭に相当し、くねくねとこぐまを取り囲むように竜の尾が伸びています。多くの星が3~4等星のため、大阪では見つけることが困難ですが、星のよく見える場所では、比較的辿りやすい星の並びです。



北の空の星空(6月1日21時頃:大阪)

ところでこのりゅう座の尾にあるトゥバンという星は、今からおよそ5000年ほど前は、ちょうど天の北極にあり、北極星の役目を果たしていました。5000年前と言えば、エジプトでピラミッドが建設されていた時期で、ピラミッド内部に北の空へ向かって開けられたトンネルからは、当時、このトゥバンが見えていたと言われています。

地球の自転軸は、常に同じ方向を向いているわけではなく、およそ2万6000年の周期で徐々に方向が変わる、歳差運動をしています。そのため、現在の北極星も、徐々に真北の方向からずれてゆき、1万2000年後には、こと座のベガが北極星として輝くこととなります。

江越 航(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
5	18	土	月が最遠(404,773km)/変光星くじら座ミラの極大
	19	日	木星が合/変光星オリオン座Uの極大
	20	月	小満/月とスピカが接近
	23	木	○満月(23時)/変光星カシオペア座Rの極大
	24	金	明方に月とアンタレスがならぶ
6	1	土	●下弦(2時)/深夜に月と土星がならぶ/南大西洋一帯で土星食
	2	日	白昼低空で海王星食(13時10分 潜入~18分に没)
	2	日	月が最近(368,255km)

月	日	曜	主な天文現象など
6	3	月	明方に月と火星が接近
	4	火	明方の低空に水星と木星が接近
	5	水	芒種/金星が外合/明方に木星と水星が接近
	6	木	●新月(22時)
	9	日	土星が西矩/月とカストルとポルルクスがならぶ
	10	月	入梅
	12	水	月とレグルスがならぶ
	14	金	●上弦(14時)/月が最遠(404,004km)/水星が近日点通過
	15	土	水星が外合